

第4回 東北 野生動物管理 研究交流会 in つるおか

2017.11.11 Sat. 10:30 – 17:40 (10:00開場)

山形大学農学部 (山形県鶴岡市) 301講義室 ほか

入場無料 要申込 2017.10.31 締切 裏面参照

定員 先着 120 名

基調講演

無居住化がもたらす景観と生態系の変化

深澤 圭太 氏

国立環境研究所 主任研究員

リレートーク

宇野 壮春 氏 東北野生動物保護管理センター

奥田 圭 氏 東京農工大学

斎藤 昌幸 氏 山形大学

古澤 優佳 氏 山形県森林研究研修センター

江成 広斗 氏 山形大学

野生動物に
関する事例紹介
ポスター
募集中!

主催/東北野生動物管理研究交流会実行委員会 合同会社 東北野生動物保護管理センター

共催/鶴岡市(予定)、後援/山形県(予定) 「野生生物と社会」学会

研究交流会実行委員/山形大学: 玉手英利, 林田光祐, 江成広斗, 斎藤昌幸 合同会社東北野生動物保護管理センター: 宇野壮春, 関健太郎

山形県森林研究研修センター: 斎藤正一 東京農工大学: 奥田圭 雪国野生動物研究会: 江成はるか (交流会事務局)

野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く議論されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、農村や、その周辺域における急速な人口減少が考えられます。

そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。

この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論していきます。

● 10:00 開場

● 10:30 – 10:40 開会挨拶・趣旨説明

● 10:40 – 12:10 リレートーク Part 1

宇野 壮春 イノシシの分布回復と捕獲手法による諸問題

奥田 圭 原発事故・津波被災に伴う人間の移出が野生哺乳類群集に与える影響

斎藤 昌幸 山形県でクマが目撃される場所にはどんな特徴があるか？

● 12:10 – 12:45 昼食・休憩

● 12:45 – 15:00 ポスター発表

野生動物に関する事例紹介

- 野生動物に関する事例とし、愛玩動物は含みません
- 企業ブースはポスター発表のみといたします
- ポスターは、縦100cm×幅120cm以内に収めてください
- 発表をご希望の際は申込時にご連絡ください

● 15:15 – 16:25 基調講演

深澤 圭太 国立環境研究所 主任研究員 無居住化がもたらす景観と生態系の変化

● 16:30 – 17:30 リレートーク Part 2

古澤 優佳 山形県におけるシカが目撃情報と生息実態

江成 広斗 鳴声を使った新たなシカのモニタリングの試み

● 17:30 – 17:40 総括・閉会の挨拶

● 18:30 – 20:30 懇親会

参加者のみなさまと交流しましょう！（事前の申込み・会費の払込みが必要です）

場所／定員：山形大学農学部生協 先着80名

会費：一般 3,000円 学生2000円 ※ 当日参加は受け付けておりません。

お申込み先

研究交流会実行委員会 事務局

<http://four-m.jp/yu-coe2017/>

お問い合わせ先

tohoku.wildlife@gmail.com

懇親会費振込先

ゆうちょ銀行 普通預金

店番 858 口座番号 2335465

口座名義人 エナリハルカ

申込 / 振込締切：2017年10月31日

山形大学農学部

住所：山形県鶴岡市若葉町1-23

山形駅－鶴岡駅：高速バスで約2時間

仙台駅－鶴岡駅：高速バスで約3時間（要予約）

新潟駅－鶴岡駅：JR（特急）で約2時間

鶴岡駅－大 学：徒歩約15分

アクセスマップ

<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html>

お車でお越しの方は、道路を挟んだ正門向かい側、体育館前が駐車場となりますので、こちらをご利用ください。